

第61回

草津市美術展覧会 〈第53回滋賀県芸術文化祭参加事業〉

2023年

11月12日(日)▶11月18日(土)

10:00~17:30 ただし、11月18日(土)は15:00まで

キラリエ草津
(市民総合交流センター)5・6階

所在地:草津市大路二丁目1番35号

部門 日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真
特別企画展:イラスト部門

- 搬入 11月 3日(金) 10:00~18:00
展示会場と同じ 4日(土) 10:00~18:00
- 搬出 11月 19日(日) 10:00~18:00
展示会場と同じ 20日(月) 10:00~18:00

●作品批評会を開催します！

開催日時 11月18日(土)15:00~16:00

場 所 展示会場と同じ

どなたでもご参加いただけます。

※イラスト部門除く

●特別企画展イラスト部門の作品を募集します！

■主催 草津市・草津市教育委員会

■後援 朝日新聞大津総局・毎日新聞大津支局・読売新聞大津支局・産経新聞社・中日新聞社・京都新聞・NHK大津放送局・KBS京都
BBCびわ湖放送・株式会社えふえむ草津・草津市教育会・草津商工会議所・草津ライオンズクラブ・草津ロータリークラブ
草津美術協会・草津市21世紀文化芸術推進協議会・草津市国際交流協会(順不同)

■問合せ先 草津市教育委員会事務局 生涯学習課 TEL077-561-2428・FAX077-561-2488

市 展

KirariE
(市民総合交流センター)
草津市大路二丁目1番35号

土曜日・日曜日・祝日は、草津駅側(西側)から駐車場への進入はできません。



↑草津市美術展覧会
ホームページはこちら

第61回草津市美術展覧会 作品募集要項

- ① 応募資格 県内にお住まい、または県内に通勤・通学する人（ただし、中学生以下は除く。）
- ② 応募作品及び規格 本展覧会および他の公募展に発表したことのない作品に限る。
二次創作や商業キャラクター、肖像権の侵害となる可能性のある作品は不可とする。

部門	規格など
日本画	10号(53cm×33.3cm)以上80号(145.5cm×145.5cm)以内 水墨画を含む。作品には、額装および吊紐を施すこと。ただし、額(マットを含む)の幅は8cm以内でガラス・アクリルは不可。
洋画	油絵は30号(90.9cm×60.6cm)以上80号(145.5cm×145.5cm)以内 水彩画、パステル画、(色)鉛筆画、クレヨン画および混合技法は72cm×51cm以上145.5cm×145.5cm以内(ただしマットは含まない) 版画は25cm×25cm以上145.5cm×145.5cm以内 作品には、額装および吊紐を施すこと。ただし、額の幅は6cm以内でガラス・アクリルは不可。油絵以外はアクリル可とする。
彫刻	縦・横・高さがそれぞれ200cm以内 1ブロック1単位で手動可能なもの 展示レイアウトに関して、指示の必要な作品については写真等の指示書をつけること。
工芸	平面は180cm×180cm以内。作品には、吊紐を施すこと。 立体は自由(ただし、外装を含んだ重量が40kg以内で、手動可能であり著しく展示に支障をきたさないもの)。 またパッチワーク等の作品については、パネル展示ができるように吊るすための処置を施すこと。 <u>電源が必要な作品について、出品は可能であるが、電源を入れての展示ができないこともある。</u> 展示レイアウトに関して、指示の必要な作品については配置図や写真等の指示書をつけること。 平面作品の表面カバーについて、ガラスは不可、アクリルは可とする。
書	作品仕上げ寸法(額装含む):全紙1/2以上、縦横とも200cm以内。縦作品のみ243cm×65cm可。 篆刻、刻字は自由(手動可能で著しく展示に支障をきたさないもの)。 作品には、吊紐を施すこと。わく張りまたは額装。 掛け軸は取り扱わない。
写真	単写真 画面長辺が38cm以上であること。わく張りまたは額装(90cm×70cm以下)および吊紐を施すこと。 ガラス、アクリルその他の樹脂板の使用は不可とする。(ガラスは表面、裏打ちともに使用不可、樹脂板は裏打ちのみ使用可)
特別企画展 イラスト	用紙のサイズはA4(21.0cm×29.7cm)以上B3(36.4cm×51.5cm)以内。平面作品であること。一枚絵であること。 技法・素材は不問とする。デジタル作品の場合はプリントアウトしたうえで、平面作品として展示できる形態にして出品すること。 わく張りまたは額装(アクリル可)および吊紐を施すこと。

※昨年度との変更点は、下線で示しています。

- ③ 出品点数 各部門とも1人1点
- ④ 出品手数料 1点600円
- ⑤ 出品方法 所定の出品申込書に必要事項を記入し、出品手数料を添えて搬入日に搬入場所へ搬入。
- ⑥ 審査員
日本画=西田 真人(日展特別会員、大阪芸術大学客員教授)
洋画=黒川 彰夫(二科会会員、滋賀県美術協会会員)
彫刻=笹山 幸徳(日展彫刻特別会員、兵庫教育大学名誉教授)
工芸=井俣 慶人(日展理事、日本新工芸家連盟理事)
書=岡本 藍石(日展準会員、公益社団法人日本書芸院常務理事)
写真=柳原 香(二科会写真部会員、兵庫県写真作家協会委員長)
イラスト=上原 結子(成安造形大学非常勤講師)
- ⑦ 鑑査および
審査 作品は、鑑査のうえ審査し、入選したものを陳列する。※すべての部門において、鑑査および審査ならびに陳列については、異議を申し立てることはできない。
【日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真部門】
入選作品の中から各部門とも市展賞および特選を選び表彰する。さらに佳作を若干選ぶことがある。同一の部門に属する作品が5回特選以上に選ばれると「無鑑査」となる。また、各部門において市展デビュー賞を選ぶことがある。
【イラスト部門】
入選作品の中から優秀賞を選び表彰する。さらに佳作を若干選ぶことがある。
- ⑧ 入選発表 出品者にハガキで通知し、入賞者には、前後して電話連絡を行うこともある。
また、出陳目録を草津市ホームページに掲載する。
- ⑨ 表彰式 日時…令和5年11月18日(土)16:00～ 場所…キラリエ草津[市民総合交流センター]
- ⑩ その他 出品作品の保管・取扱いに関しては十分な注意を払うが、紛失、毀損、その他の損害に対しては一切責任を負わない。必要な場合は、出品者自身で保険をかけること。
なお、展覧会会場は写真撮影可能とする。また、出品作品に関して肖像権侵害等の紛争が生じた場合には、出品者自身が一切の責任を負うものとする。
受賞者については、「広報くさつ」、草津市ホームページ等に作品および氏名等を掲載する。